

教科・科目	地歴・地理総合			単位数	2単位	
				対象学年	1学年	
担当者	1組	2組	3組	4組	5組	
教科書	高等学校 新地理総合(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)					
補助教材	高等学校 新地理総合ノート(帝国書院)					
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
教科の目標	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関する理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	
科目の目標	世界の多様な生活文化、防災、地域・地球的課題への取り組みを理解する。地図や地理情報システムを活用し諸資料から地理的情報を調査まとめる技能を身につける。		地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力、考察、構想したことを的確に説明したり、議論したりする力を養う。		地理的諸事象について、よりよい社会の実現をめざすための課題を追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、国土に対する愛情、世界の多様な生活文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	
1学期	地図と地理情報システム	知 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。		地球上の位置と時差	知 緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違い、時差のしくみ、時差が生活に与える影響が生活に与える影響について理解している。	
		思 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。			思 緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違い、時差のしくみ、時差が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。	
		学 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。			態 よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
地図と地理情報システム	知 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。		地図の役割と種類	知 球体の地球と平面の地図、さまざまな地図投影法(図法)、身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について理解している。		
	思 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。			思 地理情報システム(GIS)のしくみやこれを支える技術、GISの活用場面について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
	学 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。			態 よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。		
中間考査					〇〇	1
結び付きを深める現代世界	知 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。		現代世界の国家と領域	知 国境の種類、国家の領域、国家の主権、国境の種類、国家の領域、国家の主権について理解している。		
	思 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。			思 日本の領土をめぐる問題、国際関係と紛争の変化、国連が果たす役割、経済のグローバル化と地域ごとの経済的な結び付きについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		
	学 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。			態 よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。		
結び付きを深める現代世界	知 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。		グローバル化する世界	知 暮らしを支える貿易、貿易の変化と国際分業の成立、自由化する世界の貿易、世界を結ぶ航空交通の発達、貿易を支える海上交通の発達、陸上交通の発達と変化、観光のグローバル化について理解している。		
	思 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。			思 国際関係と紛争の変化、国連が果たす役割、経済のグローバル化と地域ごとの経済的な結び付きについて多面的・多角的に考察し、表現している。		
	学 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。			態 よりよい社会の実現を視野にそとてみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。		
期末考査					〇〇	1

2学期	生活文化の多様性と国際理解	知 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。	世界の地形と人々の生活	知 変動帯のプレート境界と生活への影響、地震・火山と生活への影響、安定地域の平野と生活への影響、河川が作る地形と生活の関わりについて理解している。	○○○	8
		思 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。		思 生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
		学 よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。		態 よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。		
	生活文化の多様性と国際理解	知 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。	世界の気候と人々の生活	知 気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について理解している。	○○○	8
		思 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。		思 気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
		学 よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。		態 よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。		
	中間考査			○○	1	
	生活文化の多様性と国際理解	知 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。	世界の言語・宗教と人々の生活	知 言語と民族の関わり、公用語と人々の生活への影響、宗教の食生活への影響、宗教と生活の関わりについて理解している。	○○○	7
		思 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。		思 言語と民族の関わり、公用語と人々の生活への影響、宗教の食生活への影響、宗教と生活の関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		
		学 よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。		態 よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。		
地域的課題と国際協	知 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。	地球的課題	知 地球環境問題の種類、地球環境問題の背景について理解している。	○○○	8	
	思 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。		思 地球環境問題の種類、地球環境問題の背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。			
	学 よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。		態 よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			
期末考査			○○	1		
3学期	自然環境と防災	知 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりと、地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害学よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	日本の自然環境、地震・津波と防災	知 フレードが重なり合う日本列島、日本列島の背骨をなす山地、日本の河川と沖積平野、地震の種類と特徴、地域で異なる震災の被害について理解している。フレードが重なり合う日本列島、日本列島の背骨をなす山地、日本の河川と沖積平野、地震の種類と特徴、地域で異なる震災の被害について多面的・多態よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○○○	7
	自然環境と防災	知 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりと、地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害学よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	火山災害と防災、気象災害と防災、自然災害への備え	知 火山の分布、火山の恵み、火山災害の特徴、地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化、災害の被害を軽減するための取り組み、防災情報の活用。火山の分布、火山の恵み、火山災害の特徴、地域で異なる気象災害、都市化による水害の変化、災害の被害を軽減するための取り組み、防災情報の活用。よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○○○	7
	期末考査			○○	1	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		歴史総合			単位数	2単位
					対象学年	1学年
担当者	1組	2組	3組	4組	5組	
教科書	歴史総合(実教出版)					
補助教材	なし					
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
教科の目標	現代世界の地域的特色と日本および世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念など活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して寛容される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	
科目の目標	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在のつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	
単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数
1学期	歴史の扉	知 高校の歴史学習の動機付けと以後の学習に必要な歴史学習の基本的な技能を身につけさせる	ダンスから見るいまと昔	知 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。	〇〇〇	3
		思 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現できる		思 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。		
		学 一年間の学習に必要な歴史学習の基本的な技能や学び方を身につけさせる。		態 歴史総合」を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。		
近代化への胎動	知 交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につける。	江戸時代の日本と東アジア秩序の変動/江戸時代の生産・流通と諸改革/幕政の改革と東アジア世界	知 交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用して、近代化にともなう生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。	〇〇〇	7	
	思 交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用して、近代化にともなう生活や社会の変容について考察し、問いを表現できる。		思 交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用して、近代化にともなう生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。			
	学 資料から、情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりすることにより、興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだすことができる。		態 資料から、情報を読みとったりまとめたり、複数の資料を比較したり関連付けたりすることにより、興味・関心をもったこと、疑問に思ったこと、追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。			
中間考査				〇〇〇	1	
欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	知 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国における生産と流通、アヘン戦争やペリー来航をはじめアジアと欧米諸国の関係などを基に、18世紀とその前後の世界の政治と社会を理解する。	イギリス産業革命とアメリカ独立戦争/フランス革命とウィーン体制 アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立/オスマン帝国の衰退とロシア/オスマン帝国の衰退とロシア/江戸幕府の滅亡	知 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国における生産と流通、アヘン戦争やペリー来航をはじめアジアと欧米諸国の関係などを基に、18世紀とその前後の世界の政治と社会を理解している。	〇〇〇	8	
	思 ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、アジアとの関係を相互に関連付けたりするなどして、18世紀とその前後の世界全体の経済活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係、江戸幕府が崩壊していく関係などを多面的・多角的に考察し、表現できる。		思 ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、アジアとの関係を相互に関連付けたりするなどして、18世紀とその前後の世界全体の経済活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係、江戸幕府が崩壊していく関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。			

		<p>学 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。</p>		<p>態 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。</p>		
	<p>欧米諸国と日本の国民国家形成</p>	<p>知 19世紀後半のヨーロッパや日本における政治、ヨーロッパ各地域間や日本と欧米諸国の関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解する。</p> <p>思 ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴、ヨーロッパ各地域間やアジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>学 19世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツ統一/明治政府の諸改革/日本のアジア外交と国境問題/自由民権運動と大日本帝国憲法</p>	<p>知 19世紀後半のヨーロッパや日本における政治、ヨーロッパ各地域間や日本と欧米諸国の関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。</p> <p>思 ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴、ヨーロッパ各地域間やアジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <p>態 19世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。</p>	000	8
	<p>期末考査</p>				000	1
2学期	<p>帝国主義の時代</p>	<p>知 19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の進出などを基に、19世紀から20世紀初頭にかけてののアジアの政治と社会を理解する。</p> <p>思 19世紀から20世紀初頭にかけてのヨーロッパアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀から20世紀初頭ののアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>学 帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>帝国主義の時代へ/朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争/日清戦争後の東アジア/日露戦争と東アジアの変動/日本の産業革命</p>	<p>知 19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の進出などを基に、19世紀から20世紀初頭にかけてののアジアの政治と社会を理解している。</p> <p>思 19世紀から20世紀初頭にかけてのヨーロッパアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀から20世紀初頭ののアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している</p> <p>学 帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。</p>	000	8
	<p>第一次世界大戦と大衆社会</p>	<p>知 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。</p> <p>思 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>第一次世界大戦/ロシア革命とソ連の成立/米騒動と大正デモクラシー/ヴェルサイユ体制とワシントン体制/アジアの民族運動/第一次世界大戦後の欧米諸国/ひろがる社会運動と普通選挙の実現</p>	<p>知 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。</p> <p>思 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	000	8

	<p>学 20世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>		<p>学 20世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。</p>		
中間考査				〇〇〇	1
経済危機と第二次世界大戦	<p>知 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。</p>	<p>世界恐慌と各国の対応/ファシズムの時代/満洲事変と軍部の対立/日中戦争と戦時体制/第二次世界大戦の勃発/第二次世界大戦の終結/国際連合の成立と冷戦/日本占領と日本国憲法/朝鮮戦争と日本</p>	<p>知 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。</p>	〇〇〇	9
	<p>思 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p>		<p>思 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>		
	<p>学 世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>		<p>態 世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。</p>		
冷戦と脱植民地化	<p>知 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解する。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。</p>	<p>植民地の独立/米ソ両陣営の動揺/日本の国際社会復帰と高度経済成長</p>	<p>知 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。</p>	〇〇〇	8
	<p>思 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p>		<p>思 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>		
	<p>学 1950年代の冷戦期から1970年代の石油危機で日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>		<p>態 1950年代の冷戦期から1970年代の石油危機で日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。</p>		
期末考査				〇〇〇	1

3学期	多極化する世界	<p>知 石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。</p>	石油危機と世界経済/緊張緩和から冷戦の終息へ/日本の経済大国化	<p>知 石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。</p>	〇〇〇	7
		<p>思 アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p>		<p>思 アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>		
		<p>学 1970年代に入り石油危機などが起きたころから21世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>		<p>態 1970年代に入り石油危機などが起きたころから21世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。</p>		
	グローバル化と現代社会	<p>知 歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解する。</p>	地域紛争と対立/国際秩序の変容/	<p>知 歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解している。</p>	〇〇〇	7
		<p>思 日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p>		<p>思 日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>		
	<p>学 21世紀に入って日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>態 21世紀に入って日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。</p>				
期末考査				〇〇〇	1	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		公民・公共			単位数	2単位		
					対象学年	2学年		
担当者	1組	2組	3組	4組	5組			
教科書	高等学校 公共 これからの社会について考える							
補助教材								
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
教科の目標	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。		よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。			
科目の目標	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。		よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。			
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数
1学期	公共の扉	知 現代の諸課題に関する概念や理論を理解する。		青年期・西洋思想	知 現代の諸課題に関する概念や理論を理解している。		〇〇〇	18
		思 現実社会の諸課題の解決に向けて他者と協働しながら構想し表現する。			思 現実社会の諸課題の解決に向けて他者と協働しながら構想し表現している。			
		学 資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする。			学 資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている。			
	中間考査						〇〇	1
1学期	公共の扉	知 現代の諸課題に関する概念や理論を理解する。		民主政治の基本原則・日本社会の基本原則	知 現代の諸課題に関する概念や理論を理解している。		〇〇〇	12
		思 現実社会の諸課題の解決に向けて他者と協働しながら構想し表現する。			思 現実社会の諸課題の解決に向けて他者と協働しながら構想し表現している。			
		学 資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする。			学 資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている。			
	期末考査						〇〇	1
2学期	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	知 現代の諸課題に関する概念や理論を理解する。		法と契約、司法制度	知 現代の諸課題に関する概念や理論を理解している。		〇〇〇	12
		思 現実社会の諸課題の解決に向けて他者と協働しながら構想し表現する。			思 現実社会の諸課題の解決に向けて他者と協働しながら構想し表現している。			
		学 資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする。			学 資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている。			
	中間考査						〇〇	1
2学期	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	知 現代の諸課題に関する概念や理論を理解する。		政治、経済	知 現代の諸課題に関する概念や理論を理解している。		〇〇〇	20
		思 現実社会の諸課題の解決に向けて他者と協働しながら構想し表現する。			思 現実社会の諸課題の解決に向けて他者と協働しながら構想し表現している。			
		学 資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする。			学 資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている。			
	期末考査						〇〇	1
3学期	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	知 現代の諸課題に関する概念や理論を理解する。		課題探究活動	知 現代の諸課題に関する概念や理論を理解している。		〇〇〇	11
		思 現実社会の諸課題の解決に向けて他者と協働しながら構想し表現する。			思 現実社会の諸課題の解決に向けて他者と協働しながら構想し表現している。			
		学 自身が設定した課題について主体的に探究する。			学 自身が設定した課題について主体的に探究している。			
	期末考査						〇〇	1

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		地理歴史・日本史探究			単位数	3単位		
					対象学年	2学年		
担当者	1組	2組	3組	4組	5組			
教科書	実教出版 『精選日本史探究』							
補助教材	実教出版 『精選日本史探究演習ノート』							
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
教科の目標	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
科目の目標	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、自国や自国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数
I学期	国家と文化の形成	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する		列島にくらしはじめた人々、農耕がうまれる、クニがうまれる、ヤマト政権の形成、倭の五王と氏姓制度	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している		〇〇〇	9
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる			思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている			
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする			態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている			
	古代国家の確立	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する		飛鳥の朝廷、大化改新から壬申の乱へ、律令国家の形成、東アジアのなかの天平文化、地頭・御家人と荘園制の変質、鎌倉時代の政治と社会、平安時代初期の政治と文化、摂関政治と国風文化、摂関期の社会と経済	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している		〇〇〇	12
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる			思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている			
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする			態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている			
	中間考査						〇〇〇	1
	中世社会の成立	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する		院政と中世荘園、奥州藤原氏と平氏、治承・寿永の乱と鎌倉幕府、承久の乱と公武関係、地頭・御家人と荘園制の変質、鎌倉時代の経済・産業と自然環境、モンゴル襲来と日宋・日元交流、社会の変動と鎌倉幕府の滅亡	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している		〇〇〇	12
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる			思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている			
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする			態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている			
中世社会の展開	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する		南北朝の内乱、足利義満と室町幕府、東アジアの海をゆきかう人々、惣村と一揆、戦国時代の幕あけ、室町・戦国時代の流通経済、戦国時代の政治と社会	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している		〇〇〇	11	
	思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる			思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている				
	学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする			態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている				
期末考査						〇〇〇	1	

2学期	統一政権の成立	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する	「南蛮」との出会い、織豊政権の全国統一、東アジアの変動と豊臣政権、江戸幕府の支配のしくみ、江戸時代の対外関係、身分制と村・町的生活	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している	〇〇〇	10
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている		
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする		態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている		
	幕藩体制の展開	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する	幕藩政治の転換、産業の発展、交通網の発達と都市の繁栄、徳川吉宗・田沼意次と財政問題、商品経済の発達と民衆の運動、寛政の改革と欧米諸国の日本接近、江戸時代後期の学問・文化、天保の改革	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している	〇〇〇	11
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている		
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする		態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている		
	中間考査				〇〇〇	1
	大日本帝国の形成	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する	開国、倒幕と「ええじゃないか」、明治維新、文明開化、富国強兵、国境の画定、自由民権運動、激化事件、大日本帝国憲法	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している	〇〇〇	12
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている		
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする		態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている		
	大日本帝国とデモクラシー	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する	日清戦争、1900年前後の世界とアジア、日露戦争、社会問題と地域社会、大正デモクラシー、第一次世界大戦、資本主義の成長、改造の時代、植民地	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している	〇〇〇	12
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている		
学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする		態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている				
期末考査				〇〇〇	1	
3学期	アジアの戦争と第二次世界大戦	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する	普通選挙と治安維持法、大日本帝国の選択肢、満州事変とモダニズム、日中戦争と総力戦、アジア太平洋戦争、敗戦	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している	〇〇〇	9
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている		
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする		態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている		
	現代日本社会の形成と展開	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する	世界の中の日本占領、占領改革と日本国憲法、朝鮮戦争、日米安保体制と55年体制、高度経済成長、ベトナム戦争とアジア、経済大国、世界の転換と日本社会、グローバル化する世界と日本、「わたし」たちの社会と世界	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している	〇〇〇	14
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている		
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする		態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている		
期末考査				〇〇〇	1	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		社会科教養			単位数	2単位	
					対象学年		1学年
担当者	1組	2組	3組	4組	5組		
教科書	なし						
補助教材	なし						
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		
教科の目標	現代世界の地域的特色と日本および世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念など活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。		地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的、多角的な考察や深い理解を通して寛容される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。		
科目の目標	地理、歴史、公民の諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、世界の生活文化の多様性や地球的課題、防災、また現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史、政治や経済、倫理にかかわる多様な視点を理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		地理にかかわる事象の意味や意義、特色や相互の関連、近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色、現代社会の課題解決に向けた手掛かりとなる概念などについて、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		地理や近現代の歴史の変化に関わる諸事象、社会の形成者として必要な選択判断の基準となる考え方について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、社会のあり方などについて自覚などを深める。		
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数
1学期	地理的教養 地理的な見方、考え方	知 世界の国々、世界や日本の生活と環境の基本事項を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につける	世界の国々 世界や日本の生活と環境	知 世界の国々、世界や日本の生活と環境の基本事項を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につけている。	〇〇〇	5	
		思 世界の国々、世界や日本の生活と環境について、多面的多角的に考察し表現する。		思 世界の国々、世界や日本の生活と環境について、多面的多角的に考察し表現している。			
		学 世界の国々、世界や日本の生活と環境から課題を見つけ追究、解決する態度を養う。		学 世界の国々、世界や日本の生活と環境から課題を見つけ追究、解決する態度を養おうとしている。			
	日本の風土について	知 日本のしきたり、自然観、年中行事の基本事項を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につける	日本のしきたり (自然観、年中行事など)	知 日本のしきたり、自然観、年中行事の基本事項を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につけている。	〇〇〇	5	
		思 日本のしきたり、自然観、年中行事について、多面的多角的に考察し表現する。		思 日本のしきたり、自然観、年中行事について、多面的多角的に考察し表現している。			
		学 日本のしきたり、自然観、年中行事から課題を見つけ追究、解決する態度を養う。		学 日本のしきたり、自然観、年中行事から課題を見つけ追究、解決する態度を養おうとしている。			
	中間考査				〇〇〇	1	
	日本の社会	知 新聞記事を活用して現代社会の基本事項を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につける	時事問題	知 新聞記事を活用して現代社会の基本事項を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につけている。	〇〇〇	8	
		思 新聞記事を活用して現代社会について、多面的多角的に考察し表現する。		思 新聞記事を活用して現代社会について、多面的多角的に考察し表現している。			
		学 新聞記事を活用して現代社会からの課題を見つけ追究、解決する態度を養う。		学 新聞記事を活用して現代社会からの課題を見つけ追究、解決する態度を養おうとしている。			
	課題探究活動	知 沖縄の地理歴史、生活文化の基本事項を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につける	修学旅行地の沖縄について	知 沖縄の地理歴史、生活文化の基本事項を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につけている。	〇〇〇	8	
		思 沖縄の地理歴史、生活文化について、多面的多角的に考察し表現する。		思 沖縄の地理歴史、生活文化について、多面的多角的に考察し表現している。			
学 沖縄の地理歴史、生活文化から課題を見つけ追究、解決する態度を養う。		学 沖縄の地理歴史、生活文化から課題を見つけ追究、解決する態度を養おうとしている。					
期末考査				〇〇〇	1		

2学期	江戸から東京へ	知 江戸から東京へを活用して江戸時代の基本事項を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につける	江戸時代を中心に江戸時代の生活や文化	知 江戸から東京へを活用して江戸時代の基本事項を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につけている。	〇〇〇	8
		思 江戸から東京へを活用して江戸時代について、多面的多角的に考察し表現する。		思 江戸から東京へを活用して江戸時代について、多面的多角的に考察し表現している。		
		学 江戸から東京へを活用して江戸時代の課題を見つけ追究、解決する態度を養う。		学 江戸から東京へを活用して江戸時代の課題を見つけ追究、解決する態度を養おうとしている。		
	江戸から東京へ	知 江戸から東京へを活用して明治大正時代の東京の基本事項を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につける	明治から大正について	知 江戸から東京へを活用して明治大正時代の東京の基本事項を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につけている。	〇〇〇	8
		思 江戸から東京へを活用して明治大正時代の東京について、多面的多角的に考察し表現する。		思 江戸から東京へを活用して明治大正時代の東京について、多面的多角的に考察し表現している。		
		学 江戸から東京へを活用して明治大正時代の東京の課題を見つけ追究、解決する態度を養う。		学 江戸から東京へを活用して明治大正時代の東京の課題を見つけ追究、解決する態度を養おうとしている。		
	中間考査			〇〇〇	1	
	江戸から東京へ	知 東京の地理についての基本事項を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につける	東京の地理	知 東京の地理についての基本事項を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につけている。	〇〇〇	9
		思 東京の地理について多面的多角的に考察し表現する。		思 東京の地理について多面的多角的に考察し表現している。		
		学 東京の地理について課題を見つけ追究、解決する態度を養う。		学 東京の地理について課題を見つけ追究、解決する態度を養おうとしている。		
課題探究活動	知 新聞記事を活用し、世界や日本の課題を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につける	現代社会の課題について	知 新聞記事を活用し、世界や日本の課題を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につけている。	〇〇〇	8	
	思 新聞記事を活用し、世界や日本の課題について、多面的多角的に考察し表現する。		思 新聞記事を活用し、世界や日本の課題について、多面的多角的に考察し表現している。			
	学 新聞記事を活用し、世界や日本の課題を見つけ追究、解決する態度を養う。		学 新聞記事を活用し、世界や日本の課題を見つけ追究、解決する態度を養おうとしている。			
期末考査			〇〇〇	1		
3学期	世界の課題	知 新聞記事を活用し、世界や日本の課題を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につける	時事問題	知 新聞記事を活用し、世界や日本の課題を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につけている。	〇〇〇	7
		思 新聞記事を活用し、世界や日本の課題について、多面的多角的に考察し表現する。		思 新聞記事を活用し、世界や日本の課題について、多面的多角的に考察し表現している。		
		学 新聞記事を活用し、世界や日本の課題を見つけ追究、解決する態度を養う。		学 新聞記事を活用し、世界や日本の課題を見つけ追究、解決する態度を養おうとしている。		
	地理的教養 地理的な見方、考え方	知 防災、世界的課題、世界遺産の基本事項を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につける。	防災、地球的課題 世界遺産	知 防災、世界的課題、世界遺産の基本事項を理解し、資料を読み取りまとめる技能を身につけている。	〇〇〇	7
思 防災、世界的課題、世界遺産について、多面的多角的に考察し表現する。		思 防災、世界的課題、世界遺産について、多面的多角的に考察し表現している。				
学 防災、世界的課題、世界遺産世から課題を見つけ追究、解決する態度を養う。		学 防災、世界的課題、世界遺産世から課題を見つけ追究、解決する態度を養おうとしている。				
期末考査			〇〇〇	1		

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		公民・倫理			単位数	2単位
					対象学年	3学年
担当者		Y1	Y2			
教科書		第一学習者 高等学校倫理				
補助教材						
目標		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。		
科目の目標		古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多目的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。		
	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数
I 学期	現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	知 古今東西の幅広い思想を理解する。	古代思想・宗教・東洋思想	知 古今東西の幅広い思想を理解している。	〇〇〇	22
		思 自己の生き方や、現代の倫理的諸課題の解決に向け、自己の考えを表現する。		思 自己の生き方や、現代の倫理的諸課題の解決に向け、自己の考えを表現している。		
		学 課題を主体的に解決しようとする。		態 課題を主体的に解決しようとしている。		
	課題探究活動	知 原典資料などを読み解き、理解する。	課題探究活動◎	知 原典資料などを読み解き、理解している。	〇〇〇	10
		思 探究した内容について適切に表現する。		思 探究した内容について適切に表現している。		
		学 課題を主体的に解決しようとする。		態 課題を主体的に解決しようとしている。		
期末考査				〇〇	1	

2学期	現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方	知 古今東西の幅広い思想を理解する。	西洋思想	知 古今東西の幅広い思想を理解している。	〇〇〇	21
		思 自己の生き方や、現代の倫理的諸課題の解決に向け、自己の考えを表現する。		思 自己の生き方や、現代の倫理的諸課題の解決に向け、自己の考えを表現している。		
		学 課題を主体的に解決しようとする。		態 課題を主体的に解決しようとしている。		
	課題探究活動	知 原典資料などを読み解き、理解する。	課題探究活動◎	知 原典資料などを読み解き、理解している。	〇〇〇	10
		思 探究した内容について適切に表現する。		思 探究した内容について適切に表現している。		
		学 課題を主体的に解決しようとする。		態 課題を主体的に解決しようとしている。		
期末考査					1	
3学期	現代の諸課題と倫理	知 現代の諸課題に関する概念や理論を理解する。	生命倫理・科学技術と倫理	知 現代の諸課題に関する概念や理論を理解している。	〇〇〇	8
		思 現実社会の諸課題の解決に向けて他者と協働しながら構想し表現する。		思 現実社会の諸課題の解決に向けて他者と協働しながら構想し表現している。		
		学 自身が設定した課題について主体的に探究する。		態 自身が設定した課題について主体的に探究している。		
	課題探究活動	知 原典資料などを読み解き、理解する。	課題探究活動◎	知 原典資料などを読み解き、理解している。	〇〇〇	4
		思 探究した内容について適切に表現する。		思 探究した内容について適切に表現している。		
		学 課題を主体的に解決しようとする。		態 課題を主体的に解決しようとしている。		
期末考査				〇〇	1	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		地理歴史・世界史演習		単位数	2単位		
				対象学年	3学年		
担当者		Y3					
教科書		第一学習社『高等学校 世界史探究』					
補助教材		なし					
目標		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等			
教科の目標		現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
科目の目標		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数
1学期	諸地域の結合・変容	知 これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	世界市場の形成と諸地域の結合 帝国主義とナショナリズムの高揚 第二次世界大戦と諸地域の変容	知 これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	〇〇〇	15	
		思 諸地域の結合・変容について、考察し、諸地域の結合・変容にかかわる問いを表現している。		思 諸地域の結合・変容について、考察し、諸地域の結合・変容にかかわる問いを表現している。			
		学 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。		態 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。			
	中間考査				〇〇	1	
諸地域の結合・変容	知 これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	世界市場の形成と諸地域の結合 帝国主義とナショナリズムの高揚 第二次世界大戦と諸地域の変容	知 これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	〇〇〇	16		
	思 諸地域の結合・変容について、考察し、諸地域の結合・変容にかかわる問いを表現している。		思 諸地域の結合・変容について、考察し、諸地域の結合・変容にかかわる問いを表現している。				
	学 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。		態 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。				
期末考査				〇〇	1		

2学期	地球世界の課題	知 これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 国際秩序の変容と経済のグローバル化 科学技術の高度化と知識基盤社会 地球世界の課題と探究	知 これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	〇〇〇	16
		思 地球世界の課題について、考察し、地球世界の課題にかかわる問いを表現している。		思 地球世界の課題について、考察し、地球世界の課題にかかわる問いを表現している。		
		学 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。		態 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。		
	中間考査				〇〇	1
2学期	地球世界の課題	知 これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 国際秩序の変容と経済のグローバル化 科学技術の高度化と知識基盤社会 地球世界の課題と探究	知 これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	〇〇〇	16
		思 地球世界の課題について、考察し、地球世界の課題にかかわる問いを表現している。		思 地球世界の課題について、考察し、地球世界の課題にかかわる問いを表現している。		
		学 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。		態 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。		
	期末考査				〇〇	1
3学期	地球世界の課題	知 これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 国際秩序の変容と経済のグローバル化 科学技術の高度化と知識基盤社会 地球世界の課題と探究	知 これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	〇〇〇	10
		思 地球世界の課題について、考察し、地球世界の課題にかかわる問いを表現している。		思 地球世界の課題について、考察し、地球世界の課題にかかわる問いを表現している。		
		学 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。		態 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。		
	期末考査				〇〇	1

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		地理歴史・世界史探究			単位数	3単位		
					対象学年	3学年		
担当者	1組	2組	3組	4組	5組			
教科書		第一学習社『高等学校 世界史探究』						
補助教材		なし						
目標		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。		
科目の目標		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。		
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数
I 学期	世界史へのまなざし	知 人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。	地球環境から見る人類の歴史	知 ・人類の進化の多様性について、いくつかの可能性を示しつつ、説明することができる。	〇〇〇	2		
		思 諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現する。					思 人類の活動が環境を変える可能性について、論拠を示しつつ、表現することができる。	
		学 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。					態 これから歴史学習に取り組む者として、課題に取り組もうとしている。	
	世界史へのまなざし	知 人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。	日常生活から見る世界の歴史	知 衣食住、家庭、教育、余暇など身の回りの諸事象をもとに、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解している。	〇〇〇	2		
		思 諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現する。					思 事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性について、考察し、表現することができる。	
		学 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。					態 自ら設定した主題と世界の歴史との関連性が、後世の政治や経済、社会に対してどのような影響をあたえたか、知ろうとしている。	
中間考査				〇〇	1			
諸地域の歴史的 特質の形成	知 中学校での学習内容や歴史総合での学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	古代文明の歴史的 特質 諸地域の歴史的 特質	知 中学校での学習内容や歴史総合での学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	〇〇〇	25			
	思 諸地域の歴史的 特質の形成について、考察し、諸地域世界の歴史的 特質にかかわる問いを表現している。					思 諸地域の歴史的 特質の形成について、考察し、諸地域世界の歴史的 特質にかかわる問いを表現している。		
	態 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。					態 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。		
期末考査				〇〇	1			

2学期	諸地域の交流・再編	知 これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	結びつくユーラシアと諸地域 アジア諸地域とヨーロッパの再編	知 これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	〇〇〇	32
		思 諸地域の交流・再編について、考察し、諸地域の交流・再編にかかわる問いを表現している。		思 諸地域の交流・再編について、考察し、諸地域の交流・再編にかかわる問いを表現している。		
		学 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。		態 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。		
	中間考査				〇〇	1
2学期	諸地域の結合・変容	知 れまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	世界市場の形成と諸地域の結合 帝国主義とナショナリズムの高揚 第二次世界大戦と諸地域の変容	知 れまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	〇〇〇	32
		思 諸地域の結合・変容について、考察し、諸地域の結合・変容にかかわる問いを表現している。		思 諸地域の結合・変容について、考察し、諸地域の結合・変容にかかわる問いを表現している。		
		学 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。		態 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。		
	期末考査				〇〇	1
3学期	地球世界の課題	知 これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 国際秩序の変容と経済のグローバル化 科学技術の高度化と知識基盤社会 地球世界の課題と探究	知 これまでの学習の成果をもとに、教科書掲載の一つないし複数の資料を読み取ったりまとめたりして、資料を活用する技能を身につけている。	〇〇〇	19
		思 地球世界の課題について、考察し、地球世界の課題にかかわる問いを表現している。		思 地球世界の課題について、考察し、地球世界の課題にかかわる問いを表現している。		
		学 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。		態 現代の私たちと結びつけながら、課題意識をもって学習に取り組んでいる。		
	期末考査				〇〇	1

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		地理歴史・日本史演習			単位数	2単位
					対象学年	3学年
担当者		Y3				
教科書		実教出版『精選 日本史探究』				
補助教材		実教出版『精選 日本史探究 演習ノート』				
目標		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。		
科目の目標		日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、自国や自国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。		
	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数
I 学期	大日本帝国とデモクラシー	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する	日清戦争、1900年前後の世界とアジア、日露戦争、社会問題と地域社会、大正デモクラシー、第一次世界大戦、資本主義の成長、改造の時代、植民地	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している	〇〇〇	7
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている		
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする		態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている		
アジアの戦争と第二次世界大戦	アジアの戦争と第二次世界大戦	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する	普通選挙と治安維持法、大日本帝国の選択肢、満州事変とモダニズム、日中戦争と総力戦、アジア太平洋戦争、敗戦	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している	〇〇〇	8
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている		
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする		態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている		
中間考査					〇〇	1
現代日本社会の形成と展開	現代日本社会の形成と展開	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する	世界の中の日本占領、占領改革と日本国憲法、朝鮮戦争、日米安保体制と55年体制、高度経済成長、ベトナム戦争とアジア、経済大国、世界の転換と日本社会、グローバル化する世界と日本、「わたし」たちの社会と世界	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している	〇〇〇	8
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている		
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする		態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている		
国家と文化の形成	国家と文化の形成	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する	列島にくらしはじめた人々、農耕がうまれる、クニがうまれる、ヤマト政権の形成、倭の五王と氏姓制度	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している	〇〇〇	8
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている		
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする		態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている		
期末考査					〇〇	1

2学期	古代国家の確立	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する	飛鳥の朝廷、大化改新から壬申の乱へ、律令国家の形成、東アジアのなかの天平文化、奈良時代の政治と社会、平安時代初期の政治と文化、摂関政治と国風文化、摂関期の社会と経済	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している	〇〇〇	8
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている		
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする		態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている		
	中世社会の成立	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する	院政と中世荘園、奥州藤原氏と平氏、治承・寿永の乱と鎌倉幕府、承久の乱と公武関係、地頭・御家人と荘園制の変質、鎌倉時代の経済・産業と自然環境、モンゴル襲来と日宋・日元交流、社会の変動と鎌倉幕府の滅亡	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している	〇〇〇	8
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている		
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする		態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている		
	中間考査				〇〇〇	1
	中世社会の展開	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する	南北朝の内乱、足利義満と室町幕府、東アジアの海をゆきかう人々、惣村と一揆、戦国時代の幕あけ、室町・戦国時代の流通経済、戦国時代の政治と社会	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している	〇〇〇	8
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている		
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする		態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている		
	統一政権の成立	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する	「南蛮」との出会い、織豊政権の全国統一、東アジアの変動と豊臣政権、江戸幕府の支配のしくみ、江戸時代の対外関係、身分制と村・町の生活	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している	〇〇〇	8
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている		
学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする		態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている				
期末考査				〇〇〇	1	
3学期	幕藩体制の展開	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する	幕藩政治の転換、産業の発展、交通網の発達と都市の繁栄、徳川吉宗・田沼意次と財政問題、商品経済の発達と民衆の運動、寛政の改革と欧米諸国の日本接近、江戸時代後期の学問・文化、天保の改革	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している	〇〇〇	5
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている		
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする		態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている		
	大日本帝国の形成	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料を読み取り、内容を理解する	開国、倒幕と「ええじゃないか」、明治維新、文明開化、富国強兵、国境の画定、自由民権運動、激化事件、大日本帝国憲法	知 基礎基本的な歴史用語を理解し、史資料の読み取りから内容を理解している	〇〇〇	5
		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き出し、新たな問いを立てる		思 史資料の読み取りから、問いに対する答えを導き、新たな問いを立てている		
		学 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとする		態 史資料の読み取りを通して、課題を主体的に解決しようとしている		
期末考査				〇〇〇	1	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度

教科・科目		公民・政治・経済			単位数	2単位		
					対象学年	3学年		
担当者	1組	2組	3組	4組	5組			
教科書		最新 政治・経済						
補助教材		最新図説 政経						
目標		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		
教科の目標		選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済等に関わる諸課題に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。		現代の諸課題について、事実を基に概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする力、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養うようにする。		人間と社会の在り方に関わる課題について、よりよい社会の実現のために主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される人間としての在り方生き方についての自覚、自国を愛しその平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し各国民が協力し合うことの大切さについての自覚等を深めるようにする。		
科目の目標		社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて、概念や理論などについて理解する。諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。		国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や概念、理論などを活用して、課題を把握し説明するとともに、判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果について、議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。		よりよい社会の実現のために社会の課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公民として国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。		
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準		知 思 態	配当時数
1学期	日本国憲法と基本的人権	知 本単元の内容に関して理解する。		日本国憲法の成立 日本国憲法の基本原理 自由生きる権利	知 日本国憲法の三大原理や様々な権利が理解できている。		〇〇〇	7
		思 本単元の内容に関して、多面的・多角的に考察し、表現する。			思 社会の変化にともない生じる課題と日本国憲法の関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現できている。			
		学 本単元に関する社会的課題を探索しようとしている。			態 積極的に授業に参加している。			
	日本国憲法と基本的人権	知 本単元の内容に関して理解する。		平等に生きる権利 社会権と参政権・請求権 新しい人権	知 新しい人権とは何か、どのような権利が主張されているのかが理解できている。		〇〇〇	7
		思 本単元の内容に関して、多面的・多角的に考察し、表現する。			思 社会の変化の中で、なぜ求められてきたのかを多面的・多角的に考察し、表現できている。			
		学 本単元に関する社会的課題を探索しようとしている。			態 積極的に授業に参加している。			
	中間考査						〇〇〇	1
	日本の政治制度と政治参加	知 本単元の内容に関して理解する。		政治機構と国会 内閣と行政機能の拡大 公正な裁判の保障	知 立法、行政、司法の役割が理解できている。		〇〇〇	7
		思 本単元の内容に関して、多面的・多角的に考察し、表現する。			思 有権者として、社会参画の在り方について、多面的・多角的に考察し、表現できている。			
		学 本単元に関する社会的課題を探索しようとしている。			態 積極的に授業に参加している。			
	現代の国際政治	知 本単元の内容に関して理解する。		国際社会と国際法 国際社会の変化 国際連合と国際協力	知 国際社会における戦争観や人権の考え方が理解できている。		〇〇〇	7
		思 本単元の内容に関して、多面的・多角的に考察し、表現する。			思 人間の安全保障を実現していくための取組について、多面的・多角的に考察し、表現できている。			
学 本単元に関する社会的課題を探索しようとしている。		態 積極的に授業に参加している。						
期末考査						〇〇〇	1	

2学期	現代の経済社会	知 本単元の内容に関して理解する。	経済活動の意義 経済社会の変容 経済主体と市場の働き	知 資本主義経済の基本的なしくみや特徴、社会主義経済の特徴を対比的に理解できている。	〇〇〇	7
		思 本単元の内容に関して、多面的・多角的に考察し、表現する。		思 経済のグローバル化の課題について、多面的・多角的に考察し、表現できている。		
		学 本単元に関する社会的課題を探究しようとしている。		態 積極的に授業に参加している。		
	現代の経済社会	知 本単元の内容に関して理解する。	経済主体と市場の働き 企業の役割 国民所得	知 3つの経済主体間の経済循環と市場メカニズム、企業の役割、国民所得の指標が理解できている。	〇〇〇	9
		思 本単元の内容に関して、多面的・多角的に考察し、表現する。		思 市場にはなぜ効率性があるのか、市場の限界、国民所得の指標がどう関係しているかについて、多面的・多角的に考察し、表現できている。		
		学 本単元に関する社会的課題を探究しようとしている。		態 積極的に授業に参加している。		
	中間考査				〇〇〇	1
	現代の経済社会	知 本単元の内容に関して理解する。	金融の役割 日本銀行の役割	知 金融の概念を理解し、金融の自由化や国際化の流れが理解できている。	〇〇〇	7
		思 本単元の内容に関して、多面的・多角的に考察し、表現する。		思 金融政策が経済活動にどのような影響を与えるかについて、多面的・多角的に考察し、表現できている。		
		学 本単元に関する社会的課題を探究しようとしている。		態 積極的に授業に参加している。		
	現代の経済社会	知 本単元の内容に関して理解する。	財政の役割と租税 日本の財政の課題	知 財政の意味や財政の3つの機能が理解できている。	〇〇〇	8
		思 本単元の内容に関して、多面的・多角的に考察し、表現する。		思 公正な税制の在り方や財政危機の状況や債務の累積が何をもたらすのかについて、多面的・多角的に考察し、表現できている。		
学 本単元に関する社会的課題を探究しようとしている。		態 積極的に授業に参加している。				
期末考査				〇〇〇	1	
3学期	現代の日本経済と福祉の向上	知 本単元の内容に関して理解する。	日本経済の成長と課題 消費者問題 労働問題と労働者の権利	知 戦後の復興期から高度経済成長期への流れ、消費者の権利、労働者の権利が理解できている。	〇〇〇	7
		思 本単元の内容に関して、多面的・多角的に考察し、表現する。		思 日本経済の現状や課題、今後の展望について、多面的・多角的に考察し、表現できている。		
		学 本単元に関する社会的課題を探究しようとしている。		態 積極的に授業に参加している。		
	現代の国際経済	知 本単元の内容に関して理解する。	貿易と国際収支 外国為替市場のしくみ 経済協力と日本の役割	知 貿易の2つの理論、外国為替、先進国の取組が理解できている。	〇〇〇	7
		思 本単元の内容に関して、多面的・多角的に考察し、表現する。		思 近年の経済情勢をふまえた課題について、多面的・多角的に考察し、表現できている。		
		学 本単元に関する社会的課題を探究しようとしている。		態 積極的に授業に参加している。		
期末考査				〇〇〇	1	

指導目標 知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等

評価規準 知=知識・技能 思=思考・判断・表現 態=主体的に学習に取り組む態度